

JAPAN TENTホームステイの手引

■ 心構え

JAPAN TENTには、日本を、石川を、知りたいと思っている世界各国から日本に留学している学生が参加します。

留学生を、家族の一員という気持ちで温かく迎えて下さい。「お客様」扱いや特別な準備をしたりする必要はありません。外国人が来るからといって特に緊張することはありません。一緒に食事をしたり、おしゃべりをしたり、散歩をしたり、遊んだりしながら、家族ぐるみの交流をするのがホームステイです。(ホームステイは、お金のやりとりを伴わないボランティアです。)

■ あいさつ

初めて留学生に会うときは、とても緊張するものです。でも留学生も実は期待と不安のためにもっと緊張しています。それまで一緒にいた同じグループの仲間と離れ、初めて出会う人達と数日間を過ごすことになるからです。

初対面のあいさつは、普通の日本のお辞儀のあいさつで充分です。このとき自然な笑顔で接することで、あたたかい心の交流が生まれます。

握手は必ずしも世界共通のあいさつではないので、無理に握手することはありませんが、留学生のほうから握手を求めてきたら、右手で握手をして下さい。左手を不浄と考える人達(イスラム教徒、ヒンドゥ教徒など)もいるので、握手や受渡しの際に、左手を使わないように注意しましょう。

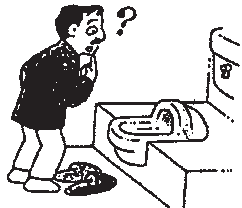
■ お互いの紹介

日本語や片言の英語で構わないので、家族みんながひとりひとり留学生に話しかけることで、より歓迎の気持ちが伝わります。

■ 家の中の案内

初対面のあいさつがすみ、ひとしきりおしゃべりがはずんだあとは、家の中を案内しましょう。私たちににとっては当然のことでも外国人にはわからないこともあるでしょう。

トイレ 和式のトイレを使うのは初めてかもしれません。とまどっているようでしたら、詳しく教えてあげましょう。



お風呂 湯船の外で体を洗ってから入ることや、お風呂の栓は使った後も抜かないでおくことなどを説明して下さい。外国人の多くは、自国で水やぬるま湯のシャワーを使っているため、日本のお風呂の温度は、熱過ぎると感じる人が多いようです。また、人と一緒にお風呂に入る習慣のない国も多いようです。

泊まる部屋 留学生が泊まる部屋は個室でも、そうでなくても構いません。眠るとき以外に、たまに30分か1時間くらい、ひとりの時間を作

ってあげるのもよいでしょう。手紙を書いたり、お祈りをしたりする自由な時間が必要なこともあります。たまにそっとしておいてあげることも心づかいのひとつであり、お互いが疲れないためにも良い方法です。



■ 食事

普段の家庭料理を食べさせてあげて下さい。「お客様」のための特別な料理よりも、家族全員で楽しく食事することが最大のおもてなしです。ただ、気をつけていただきたいのは外国人である留学生には食べることのできないものもあるということです。個人差はありますが、生魚(刺身、寿司)、生野菜、よく火が通っていない肉類、納豆などの日本独特のものが食べられないことがよくあります。また、飲酒の習慣が日本より少ない国のほうが多いようです。

そして、とても大切なことは、宗教やアレルギーのために食べられない物は、決して出さないということです。

■ 食後

最初の日は、留学生は緊張のため疲れていても、自分からは言い出しにくいものです。その日の夜は少し早めに休ませてあげることも心づかいのひとつです。

それまでは、話をしたり、テレビを見たり、ゲームをするなど交流をもち、翌日のスケジュールは、留学生の希望も可能な限り取り入れながら決めましょう。ゆったりとした計画のほうが無理がなくてよいようです。

■ お手伝い

留学生が手伝いを申し出たときは、気軽に手伝ってもらって下さい。一緒に何かすることが、家族に早くとけむきつけかけにもなりますし、「お客様」でいることが留学生にとって心苦しいこともあるでしょう。

お国料理を家族のために作りたいということもあります。留学生が自国のことをホストファミリーに紹介するとても良い機会です。どうぞ作らせてあげてください。

■ 外出にかかる費用

この費用もホストファミリーに負担をお願いしています。

あまり遠出をすることはないと考えられますが、もしも留学生が希望して遠い場所へ行くことになり、交通費がかさむようでしたら、留学生に交通費を負担するようにお伝えください。

なお、JAPAN TENT開催期間中は、通常有料の美術館、博物館、公園などで、参加留学生と同行する場合は無料となる施設がありますので、時間があれば見学してもよいでしょう。

■ 神社やお寺の見学

留学生の中には、信仰心が強いために、日本人のように気軽に神社やお寺や教会に行けない人もいます。その敷地内に足を踏み入れるだけでも、強い抵抗を感じる人もいます。(特にイスラム教徒にその傾向が強い)。観光として建築物を見ることは抵抗ないけれども礼拝(神社の入り口の手水で手や口を清める、線香をあげる、拍手を打つなど)はできない人や、まったく気にせず楽しめる人まで、さまざまです。出かける前に、留学生の意見を素直に聞いてあげて下さい。

■ 宗教のこと

宗教に対する態度は様々であり、どこにいても戒律を厳密に守ろうとする人、あまり戒律にとらわれない人など、同じ宗教を信じていても、戒律の守り方は国や人によってそれぞれ違います。以下に、一般的に気をつけていただきたいことをまとめました。

☆イスラム教徒について

- ・食 事…豚肉を食べることは戒律によって禁じられています。他の肉は、ハラルミートというイスラム教の儀式により屠殺された肉しか食べない厳格な人もいれば、ハラルミートは日本では手に入りやすいため旅行中に限っては、日本のふつうの鶏肉や牛肉を食べる人もいます。海産物、乳製品、卵は食べることができます。
- ・飲 酒…戒律によって禁じられています。
- ・犬………犬はイスラム教では、不浄とされており、触ることが禁じられています。人によっては見るだけでも嫌がることもあります。庭で犬を飼っている場合は、ずっとつないでおくのもよいでしょう。
- ・お祈り…原則として、1日5回のお祈りをする事になっていますが、旅行中であるなどのやむを得ない事情があれば、回数を減らすこともできます。お祈りは普通、10分程度で終わりますが、お祈り中は話しかけたりして、中断させないようにしてください。
- ・失礼なこと…左手は不浄の手とされているので、左手で握手をしたり、物を渡したりしないよう気をつけましょう。人差し指で人を指すのも失礼とされています。

☆ヒンドゥ教徒について

- ・食 事…牛は神聖な動物とされているので、牛肉は食べません。普通は鶏肉などは食べますが、ヒンドゥ教徒の中には、肉食主義者も多く、人によって食習慣は様々です。(肉食主義:肉全般、魚、卵、チーズ、ミルクなどの動物性タンパク質を食べない完全肉食主義者から魚やチーズなどなら食べられる部分肉食主義者まで、人によって幅があります。完全肉食主義者の場合でも、温野菜、てんぷら、揚げ豆腐、ポテトフライ、昆布だしの野菜の煮物、サラダ油を使った野菜や豆のいためもの、野菜コロッケなどなら大丈夫。)
- ・飲 酒…特に禁じられていません。
- ・失礼なこと…ヒンドゥ教でも左手は不浄とされています。

☆シーク教徒について

- ・食 事…ヒンドゥ教徒と同じように、牛肉を食べません。まったく肉を食べない肉食主義者もいます。
- ・飲酒・喫煙…ともに禁じられています。
- ・失礼なこと…シーク教でも左手は不浄とされています。
- ・その他…普通、シーク教徒の男性は、髪を切らずにのばし、クシでよくとかしてターバンできちんと巻くことになっています。

☆キリスト教について

一般的には、特に気をつけることはありません。数としてはそれほど多くはありませんが、セブンスデー・アドベンティスト(安息日再臨派)のように、ある種の魚介類を食べない宗派もあります。

☆仏教徒について

一般的には、特に気をつけることはありません。たまたま牛肉を食べない人や飲酒をしない人がいます。人間の頭には精霊が宿るとの考えから、人の頭をなでることを非常に嫌う国(タイなど)もあります。



■ お土産

自国の習慣によっては、ホストファミリーへのお土産を持参する留学生もいますが、留学生へのお土産は持たせる必要はありません。家に招かれ、食事をいただき、ともに過ごせたことで、充分すぎるほどのものをすでに受けています。それ以上は、どうぞ気をつかわないで下さい。

どうしても、お土産を持たせたいと思う方は、家族の手作りの品や写真など記念になる小さな物をお願いします。過去の例になりますが、高価な物をプレゼントされ、心苦し感じた留学生もいます。

留学生にとっても最大のお土産は、皆さんとの温かい思い出なのです。

■ 未永いおつきあいを

ホームステイのあと、手紙のやりとりをしたり、留学生の母国を家族で訪問したりするなど、交流を続けているホストファミリーもたくさんいます。この出会いを大切に、是非交流を続けて下さい。ただし、ごく稀にお礼状を出す習慣のない人や、お世話になった人にでなく、別の人(母国で会う日本人など)に親切にすることで礼を返す人もいます。もしもお礼状が来なくても、文化の違いと考えてあげてください。

